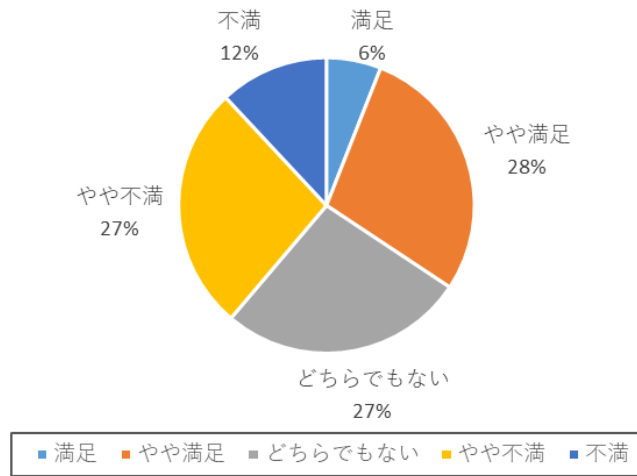


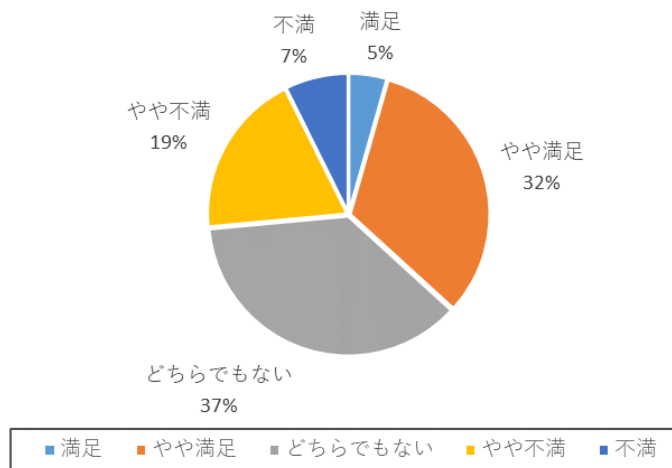
(仮称)デザイン会議はじまりの会に関するアンケート

Q1. 区からの説明(これまでの経緯報告等)



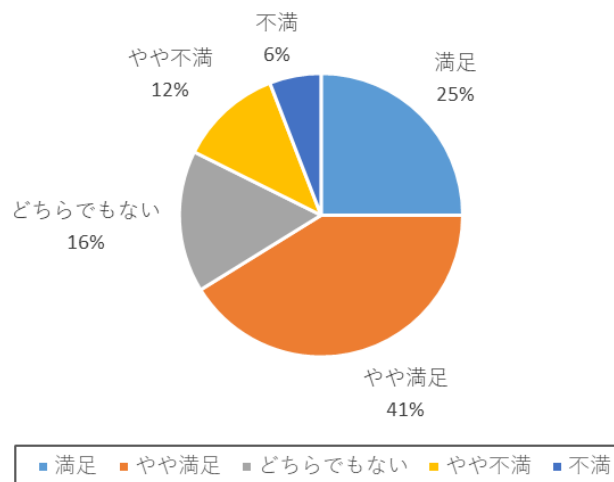
n = 67

Q2. 登壇者からの意見



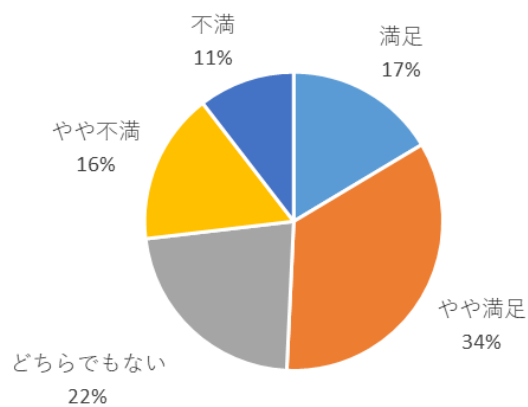
n = 68

Q3. グループワークについて

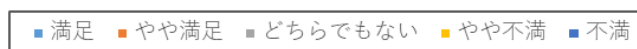


n = 68

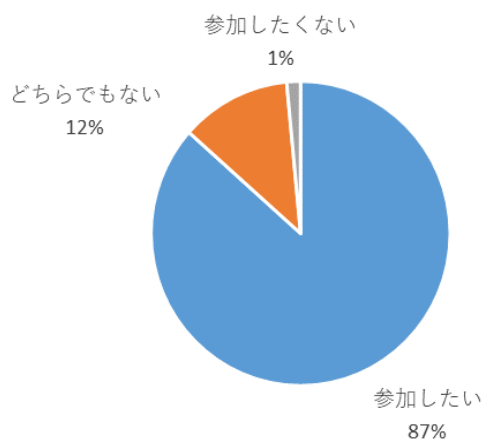
Q4. 全体を通して、どの程度満足いただけましたでしょうか。



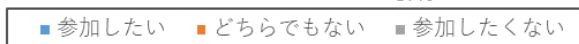
n = 67



Q5. 今後、開催する(仮称)デザイン会議に参加したいと思いますか。



n = 67



○自由意見

1	<p>区の職員の皆さんには貴重な機会をつくっていただき、感謝します。ただ、進行の仕切りの悪さ、会の主旨の分かりにくさ、一部の発言者のルール無視など、せっかくの試みがうまく機能しているとは思えません。この会が具体的にどこを目指しているのか、意見がどう反映されるのか、もう少し明確に示してほしいです。出席者のガス抜きや会の開催がアライバイ作りに利用されるようでは意味がありません。意見の言いつぱなしで終わらず、行政に区民の声を反映できる有意義で建設的な会になることを願っています。</p>
2	<p>さらにいろいろ知りたくなりました。これからも杉並区がよくなっていくように考えていきたいです。</p>
3	<p>長い田中区政との闘いで、心が疲弊し不信感が積み重なっているのは分かりますが、反対意見を一方的に攻撃的に発言することが続き精神的に苦しかったです。岸本さんが区長になってくださって、区民の意見を聞いてもらえる事感謝しています。まずは、対話や、自治の練習が参加者側にも必要だと感じました。諦めなくても、強く強く反対しなくても、意見を聞いてもらえると信じています。皆がそう実感し、前向きに建設的に行動できたらと思います。これからの会議楽しみにしています。よろしくお願いします。</p>
4	<p>会議の進め方は、杉並区の計画、ペースで進めていただいて良いと思います。 テーマについては、将来杉並の姿を描き、バックキャストで思考するのも重要と思います。</p>
5	<p>区長と区民の対話集会「さとことブレスト」を“引き継ぐ”と謳いながら、区長は会場には来ず、一方的なビデオメッセージのみで対応するという無責任。 事前に区が募集した発言希望者が70人以上いたにも拘らず、僅か15人にしか発言を許さず、しかも1人当たり2分というごくごく短い制限時間の中でのみの“発言の自由”。</p> <p>ワークショップは話し合いの成果のまとめも全体共有もせず、区民の意見が生かされるとはとて考えられない単なる言いつ放し・やりっ放しに終わってしまう進め方で、内容的にも到底ワークショップとは呼べない子ども向けのオリエンテーションの如きものであり、前述の2点やファシリテーターの参加者に対するアティテュードともども、全体を通して区民を愚弄した催しであったと思う。</p> <p>区にとっては、「対話の区政」のカタチさえ取り繕えば「区民と話し合いをした」というアライバイ作りになるのかもしれないが、区民にとってはまったく意味のないゲームに過ぎず、貴重な休日である日曜の午後の時間を割いて参加するだけの意味も価値もないものであった。</p> <p>そもそも仮称とはいえ「デザイン会議」と銘打ちながら「会議」の要素は皆無であり、「会議」とは到底呼べない代物であった。あたかも意見の交換や対話が行われるかのようなネーミングで参加者を募集しながら、区民にとっては羊頭狗肉であり、徒労にしかならなかったのではない。繰り返しになるが、徹頭徹尾区民を愚弄した中味のないイベントであったと言わざるを得ない。</p> <p>3つの道路整備事業は、その遂行で個人の権利を奪われたり財産を毀損される人も少なからずいるというのに、区はこんなオママゴトもどきでお茶を濁しながら、規定路線通りに粛々と計画を推進するつもりなのか。</p>

	<p>区長と区職には区民を愚弄したことへの猛省と、今後の「(仮称) デザイン会議」で区民と区との本当の意味での話し合いが成立するよう、徹底的な企画・内容の改善を要望する。</p> <p>区民である「登壇者」の発言に、同じく区民である他の参加者に「満足～不満」の5段階で評価をさせることもまた無神経で、区民に対する極めて愚劣な対応であると言わねばならない。</p>
6	<p>「沿道のまちづくりデザイン」という表現をやめていただきたい。</p> <p>133号線建設予定地は、私たちが暮らすまちです。「沿道」では断じてありません。また、事業認可済みの132号線、221号線建設予定地も、道路建設前提で話を進めるのをやめてください。取用済みの土地の利用も含め、まちをどうするか、都市計画道路がなくてもできる防災や暮らしやすさを追求していきたい。</p>
7	<p>はじめに声をあげていた方もいたが、WSでは異なる意見をお互い聞いて前向きな会ができると思う。</p>
8	<p>道路が中心の会だと聞いていたのですが、そうではなかったのですね。結果的には道路のことがいろいろ聞いて良かった。杉一小、児童館問題も話せたらいいですね。</p>
9	<p>これをくりかえしながら進める、それしかないと思いました。</p>
10	<p>グループワークを求めていることと違う意見をもっている方が多くいらして、その2つは分けて開催した方が良いのではないのでしょうか。</p>
11	<p>自分の勉強不足かもしれない。</p> <p>私は西荻住民：今後の西荻をどうしたいか…を話すのか…どうデザインかと思って参加した。(仮)デザイン会議、キックオフ、さとことブレスト等の関係性、Q5,(仮)デザイン会議の定義をはっきりさせてほしい。</p>
12	<p>率直な意見が聞けて、参考になりました。住民の意見を活かしていける、取組みがうまく立ち上がるとよいと思います。</p>
13	<p>多くの方、様々な方が参加し、区民がつくる区政を実現できるとよいと思います。</p> <p>また、進んだ街づくりをしている〇〇の方が参加し、お話を伺うことも勉強になるのでは。必要ではない道路をつくることを前提とした「デザイン」は反対です。</p>
14	<p>冒頭の登壇者からの過激な発言は、会の雰囲気壊してしまい、残念でした。</p> <p>現在、街が抱えている課題を抽出して共通に認識した上で、それを解決する方法として、どのような方策があるのか(道路拡幅はその一つかもしれない)を明らかにして進めていくことが肝要と感じました。</p> <p>「道路」という言葉は、どうしても車中心の道のイメージが強いので、「みち」とか「公共空間」などの言葉を使った方が良いのではと感じました。</p> <p>夢と希望のある将来像を示して、皆さんが「これいいね！これならやろうじゃないか」といえるような風に、ものごとが進めていけるといいなと感じます。自信を持って次世代にのこせるものをつくる。また、公共インフラ事業者(鉄道、バス、電力、ガスなど)も巻き込んで、総合的に考えていく必要もあるかと感じます。</p> <p>区の職員の方々は、何かとたいへんかと存じますが、「快適で安全で楽しく美しい」、より良い街づくりを、ご一緒に目指していきましょう。</p>

- ①区 HP での「(仮称)デザイン会議」の案内にも、案内チラシにもなかった「目的」が、当日資料の中で突然提示された。それも「案」ではなく、決定として。「なぜ道路整備が必要なのか」「道路整備によって何が変わるのか」「自分の住む街を将来どのようにしたいのか」「どのようなことが必要か」等、区と区民が一緒に学び、考え、少しずつ実行していける「対話による区政」を実現する。…」このような「目的」は、誰も承知していない。まず必要なのは、「道路整備は必要なのか」である。これまでのブレストやはじまりの会に集まった多くは、道路建設に反対である。反対意見が多いことを区は分かっているはずなのに、このような「目的」を騙し討ちのように掲げた区に、「対話の区政」を掲げる資格はない。このような強権的な進め方は、今後二度としないでいただきたい。*グループ討議で最初に述べた。
- ②はじまりの会の進め方を、住民との話し合いの中で決めなかったことが、決定的に間違い。会の進め方を強権的に押し付けてくるのならば、今後展望を見出せない。
- ③全体会の中での発言を希望した人全員に、発言を保障するべきだった。「時間がかかる」は何の言い訳にもならない。住民の意見を聞く姿勢がない。反対の声が強い現実の中で「対話」で解決することを放棄している。
- ④住民の立ち合いがないところで行った抽選で発言者を選んだことについて、公平であったのかさえ、もはや信用できない。グループ分けも恣意的に行われているのではないか。そうだとすれば、茶番である。
- ⑤司会とファシリテーターの進め方は、全体に参加者を「子ども扱い」したやり方で、終始不愉快であった。問題意識をもって参加している「大人」に対して。少なくとも進行の全体像や目標などをはじめに説明するべき。拍手の強要などくだらないことをするべきでない。道路建設というシビアな問題について話し合うのに、なぜワールドカフェ方式なのか。いろいろ考えられる方式の中で、ワールドカフェ方式を選んだのか。単に仲良くなるために参加しているのではない。道路建設予定地で立ち退きを迫られている当事者に対して失礼。会の運営手法についての勉強も検討も、全く不十分である。賛否がある場合の住民合意形成の作り方について、あまりに不真面目で、形式的に「こなす」ことしかできていない。だから、グループワークの中で何人もの口から「ガス抜き」という言葉が度々出ていた。
- ⑥グループワークの最後に、全体共有の時間をとるよう、はじめに要求した。そもそも全体共有やまとめの必要性を考えないこと自体が信じられない。グループワークの最後に「発表したい人はいますか。いませんね。では終わります。」とされた。あんな呼びかけで、誰が手を挙げるか。
- ⑦結果として、全体会での意見表明でも、参加したグループワークでも、道路建設に反対の声が圧倒的に強かった。その現実を受けて、この先どうするのかを、真剣に考えてほしい。あのような会を繰り返していけば、区政に主体的に参加しようとしている住民を失望させ、徒労感を味合わせて終わるだけ。区はそれを狙っているのかとすら思う。
- ⑨アンケートの質問項目の内容が悪い。これでは意見集約はできない。満足か不満かの理由すら聞きたくないのか。そもそも意見集約しようとしているのか。特に、「Q2. 登壇者からの意見」に満足かどうかを問うとは何事か。133 号線建設予定地から病をおして出席し発言した方の話を、どう受け止めたのか。区民への“リスペクト”はないのか。猛省されたい。

	<p>⑩運営委員会参加を希望する。しかし、運営委員会の概要が前もって知らされていないことは不備である。</p>
16	<p>3つのプロジェクトを一緒にして意見交換する意義はあまりないと思う。それぞれの地元の事情が異なり相互理解も乏しいので非効率。交流すべき情報は区が整理して還元すれば良い。</p> <p>区は少なくとも補助 221 号線拡幅については実施を決定し、必要な都の認可を取得、見直しを選挙で公約した区長当選後も実際に実施している(用地取得を進めている)。区長は阿佐ヶ谷の案件については実施を改めて YouTube にもアップ明言しているが、221 号線については行われていない。現地に実施に関する区の看板は設置されたが、区議会、記者会見ネット上で改めて明言して事業実施を推進すべきである。</p> <p>今回のデザイン会議（仮称）については当初の区の事業説明会で、道路のデザインについて住民と対話を持って進めると言われた延長で開催される事なので基本線を確り守り、一部の不合理な議論の蒸し返しなどに惑わされず整々と遅滞なく進めてほしい。優先実施の案件となって既に 5 年も経過しており、協力している住民、完成を待望している大多数の周辺住民の期待に寄り添って行動してほしい。</p>
17	<p>今後の進め方について、全体で協議して欲しかったがそれをさせなかった事が一番の不満。</p> <p>区が管理していて、時間制限に係わらず延長して使える状況であったのに、区の担当はグループワークにこだわり、時間を切ってしまったからグループワーク後に残ろうという気持ちを削がれてしまった。</p> <p>ともかく、運営委員会で進め方を協議して、区民からの知恵を募り進め方を様々模索して欲しい。</p>
18	<p>スタート時の空気感は良くなかった。どうせやるならば反対派・賛成派の落ち着いた意見を伺いたかった。余りにも反対派が感情的になっていたのが気になりました。</p>
19	<p>この「会」を通して公がやるべきことは何か真剣に考えていきたい。</p> <p>参加者について「地域を限定せず」との条件は疑問がある。「はじまりの会」で私のところに地域とは関係ない人が入っていたが、発言が「居住者・まちの現状がわかっておらず無責任な傍観者の意見」で違和感を感じた。</p> <p>区の配布資料を見ても「見直しを含めて住民合意で公がやるべきこと」を検討するものなのかどうなのかどうかあいまいだ。「見直しを含めて住民合意」で進めるなら、その点を明確にしてすすめるべきである。</p>
20	<p>デザイン会議では都市計画道路建設の是非について議論できると思っていたのに、グループワークを含め何の話し合いもできず、ガッカリ。</p> <p>むしろまちづくりの名目で住民を都市計画道路賛成に誘導する狙いの企画だということがよくわかった。</p> <p>区長が対話重視と言いながら、住民をだますような手法は止めるべきだ。時代遅れで税金ムダづかいの象徴でもある都市計画道路を見直すことこそが、いま杉並区には求められているのではないか。</p>
21	<p>会場でも複数の方からコメントがあったように、何を「デザイン」する会議なのか、話し合っ</p>

	<p>たことがどんな結果につながりうるのか、核心の部分が不明瞭だったのがとても残念です。3地区の道路の拡張や延伸をもう揺るぎないもの、区としては何もできないものであるとみなした上でその後の沿道のあり方を話し合う、というのが想定されたシナリオなのだろうと感じました。会議の名称や方向性は暫定的なものとしていましたが、区として道路計画の見直し・修正を求めていく可能性もあるのかどうか、大きな前提がフワフワしたままプログラムが進行し、ポジティブな要素も沢山あったものの、全体としては不信感が拭えませんでした。都の事業という大きな状況が今後どう進むのかを共有し、タイムリミットのある論点に蓋をせず、それらを核に区民が様々な意見を出し合う会議にすることが必須だと思います。またグループワークは有意義でしたが、自分のグループに戻って再び話し合う時間をとるはずのところを、「会場の雰囲気を感じて」としてカットしたことは非常に残念です。せめて30分程度、残れる方は残って元のグループで話し合ってください、とアナウンスすべきでした。時間が足りなくなった原因である全体への意見発表のキャパシティオーバーについても、内容のあることを言うのに一人2分という設定にそもそも無理があります。参加者全体への負担を考慮すると同日の登壇人数15名は適切だったと思っていますが、70名の方が登壇を希望されたことに対し、別日・別フォーマットでの意見発表機会を設けるといった提案が運営側から全く出されなかった（できないならできないという説明もなかった）ことにはがっかりしました。行政だけでなく区民も積極的に参加してこれからの杉並の形を決めていく、ということ自体は素晴らしいことですし、関わっている皆さんからそこへの前向きなエネルギーも感じられました。とはいえ、実際に区が決定権を握っている部分をぼかしたまま、なんとなく区民が集まってプレストを行うのは「デザイン会議」とはいえません。今後の改善に期待しています。</p>
22	<p>計画道路 発言者の賛成、反対の立場を明確にさせるべき。反対側の一方的なアジェンダの場にしてはいけない。</p>
23	<p>これまでの道路問題予備知識がないまま参加してしまいました。 各地域の問題意識を理解していなかったのが、当事者の皆さまの発言や怒りに驚きました。杉並区側としては、このような状況を予想出来なかったのでしょうか？ 私のように状況に対して情報不足の方も多かったかと思います。 その道路拡張問題も深刻で、聞けば聞くほど、なぜもっと事前に話し合いが出来なかったのか、寄り添って一緒に考えられなかったのか残念です。 これからは、各地の道路問題の解決に向けて話し合っただき、苦しんでいらっしゃる方々の意見を聞いてあげてください。 今は当事者ではない私たちも、いつそうなるかわかりません。 地に足をつけて生活している私たちの気持ちや意見が、やはり一番大切かと思います。これからのデザイン会議が、その舞台になることを願います。</p>
24	<p>グループワークの進め方がすごく面白いなと思いました。だからこそ、第3ラウンドがなかったことが残念でした</p>
25	<p>「ガス」ぬきだけで終わらないで！！</p>
26	<p>なぜ進捗度の異なる都計道132,221,133号線の3路線分を同時に開催したのでしょうか？まだ、</p>

	<p>事業化されていない 133 号線計画に対する批判を緩和する意図があったかもしれないと疑問を感じます。騒々しくてグループワークで向かいの人の話がほとんど聞きとれませんでした。</p> <p>グループワークに参加している区職員ではわからない事は、巡回している他の職員が協力して対応すると事前に説明がありましたが、実際に都市計画についてわからない事があっても、一切他の職員が応援する事は無く、都市計画道路がテーマだと思って参加したのに、都市計画道路について話合う会議の形がテーマだからと言うのはなにか騙されたような気がします。</p> <p>毎朝通勤時間帯に、中杉通り、高南通りに多くのダンプカーが路駐していますが、そのために原則車道走行のはずの自転車が歩道を走らざるをえない状態で歩行者も自転車との接触などの危険に晒されています。とくに中杉通りは区役所のお膝元ですが、区の職員は誰もこの状態を問題視しないのでしょうか？であれば、新しく立派な道路を整備しても、歩行者の安全が今より確保されるとは限りませんので、都計道補助 133 号線計画には反対します。</p> <p>杉並区はダンプカーの路駐待機が目立ちます。自転車の罰則は今春強化されましたが、その前に違法な路駐待機を取り締まるべきではないのでしょうか？</p>
27	<p>登壇者や一部の参加者が会の運営を阻害するような発言、ヤジ、行動をしていたことが非常に不愉快でした。また、他の参加者の利益が大きく毀損しているように感じました。</p> <p>事前にルールを決めて開催をしているはずですので、運営側の区についても毅然とした対応をお願いできればと思います。</p> <p>また、運営を阻害している方の多くが地権者の方々だったと思うので、それらの方々については別の会を開催していただき、多くの建設的な意見をさせていただける方のための会を開催していただければと思います。</p>
28	<p>発言者を抽選で 15 人にしぼったと聞いたが、希望者が多かったので、できれば登壇できる人をもう少し増やしてほしかった (20 人くらい)</p>
29	<p>デザイン会議の前提が共有・周知されておらず。テーマに沿った対話・議論に結びつかない場面が多かった。</p> <p>一部の発信者による暴言、勝手な振る舞いについては行政側でもっと早く制止して良かったのでは。</p> <p>総じて、何を話し合う場だったのか、ぼんやりしたままであったよう感じる。</p>
30	<p>3 ヶ所の開発もそれぞれ問題がありそう。時間をかけて出来るだけ多くの人達が納得出来る様にして欲しい。</p>
31	<p>着地点がはっきりしない。</p>
32	<p>司会はもう少しリンキオウヘンに。この会議事態重要と思います。今後続きますように。</p>
33	<p>今回のように、何やら分からない状況になったのか、又、デザイン会議を開いた趣旨にあっているのではないのでしょうか。</p>
34	<p>不足している(区からの説明)</p>
35	<p>このような会議は大変だけどなるべく開いた方がよいと思います。</p>
36	<p>区長が目指す公共政策を区職員はじめ、区民が理解していると感じません。その中で、このような取組を重ねることは意味があるのか疑問です。会の前段で区長が区民に求めることを明言</p>

	<p>しないといつまで経っても同じことの繰り返しになります。区民は住民税を払うだけでなく、区政に関わる権利と義務を負うことを自覚しないといけないと思いました。</p>
37	<p>難しいとは思いますが、登壇者が時間をオーバーして話し続けた場合に備えて話し始める前に時間でキッチリ切らせてもらう事を直前に念押しして話し始めてもらい、合図の音を流すなどしてもいいのではないのでしょうか。絶叫系の人たちのせいで雰囲気がすごいことになってしまうので。建設的とは思えない内容でしたし、なんなら登壇して話すのは無くても良かったと思います。</p>
38	<p>今日は雨の中で準備から運営、グループのファシリテーションまでありがとうございました。感謝しています。</p> <p>多くのグループで出ていた意見としてこの準備会議の意図や目的が不明瞭で意見の行き場や反映先が分からない。ガス抜きではないかと言われていました。</p> <p>今日配布された資料は事前にウェブやメールで共有して欲しかったです。事前に予習できたと思います。</p> <p>情報共有が遅いです。そして会議頻度も多くして議論を積み上げることを目に見えるかたちで進めて下さい。</p> <p>事業認可そのものをひっくり返す勢いでデザイン課には動いて欲しいです。</p> <p>参加型予算、子ども権利条例、気候区民会議、といった区が先進的に進めている新しい企画(予算)との連携、共通認識を持って同じ理念で進みたいと思います。</p> <p>地域の専門家をもっと巻き込んで情報を共有して一緒に知恵を出し合って調査や計画策定を行って欲しいです。</p> <p>今後ともよろしくお願ひします。</p>
39	<p>前回は生かされていませんでした。登壇して道路拡張を反対する方々のことは事前にわかっていたはず。経緯プロセスの説明もなく参加者の意見交換も難しかったです。</p> <p>全体進行も委託業者に任せてほしかったです。区の職員は声高い方々に押され気味でしたし、終了時もバラバラに終わってしまい、イベントとしても残念な感じでした。</p> <p>次回に期待したいです。</p>
40	<p>3 地域で計画の進行状況が異なるため、デザイン会議そのものの定義や目指す所がぼやけた感じがします。</p> <p>登壇された方々の熱量には驚かされましたが、様々な思いを受け止めながら、感情論で終わらない納得的な方向に収束させるための、会議設定のスキルが職員の方々に求められると感じました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区民の意見は計画全体の中でどう位置付けられるのか ・中止、変更、微調整はどの程度ありうるのか ・会議の参加者はどんな準備が必要か <p>など、予め参加者に伝えてはいかがでしょうか。</p> <p>またデザイン会議の冒頭では、これまでのプレストやはじまりの会で出た疑問に答える形で(途中経過でも良いので)この計画の経緯の検証、将来的なメリット、デメリットの数量的把握の</p>

	<p>結果をお伝えいただきたいです。</p> <p>それがなければ、これまでの会と大差ないものになってしまうのではないかと危惧しています。</p> <p>せっかくの時間、意見、税金を有効に使っていただきたく、行政の立場から適切な舵取りをよろしく願いいたします。</p>
41	<ul style="list-style-type: none"> ・会を開いていただき、ありがとうございました。 ・全体の流れやトータルの時間については、ちょうどよかった。初めての会なので、色々と物申したい方もいらしていたと、わかった。全体説明→発言したい方からのメッセージ→ワークショップ2回の流れについても結果良かったと思う。(ワークショップ3回だったとしたら、少し重たい印象にも感じた) ・発言したい方の選定については抽選とおっしゃっていたが、色々な立場の方が関係する話なので、地権者・近い関係者・興味関心が高い人/道路計画に関する考えの方向性などが重複しないように、事前のコメント等から判断して選んだということでも納得感があるのではないかと感じた。 ・ワークショップについて、最後にボードを見て自分の意見が書かれているか確認する時間が良かった。(区の職員の方が一生懸命メモしてくださったが、ポイントがずれている時もあったので) ・参加にあたって、応募から落ちた方もいたようなので、全体の応募が何人で、何人通ったとの話は冒頭にあると、参加者として議論への責任感が増すと思う。 ・当日、帰りに歩いているファミリーを見て、こういう方たちがまちづくりを考える場に出てくるのはどういう時なんだろうと考えさせられた。
42	<p>グループワークでは、単に「道路に対する反対、賛成」だけでなく、そもそも「どういうまちづくりをしていったらよいのか」という大きな視点の議論ができ大変有意義だった。地域に対する愛着を持ちながら、客観的、建設的な視点を持つ参加者が多く、とても心強い。杉並区、すごいです。</p> <p>むしろ地域住民の意識の高さに、行政がついていけないのでは、という印象を持ってしまった。住民説明会的なスタンスですませるような問題ではないのですよ。</p> <p>欲を言えば、もう少し若い世代の参加者が増えてくれればとは思ふ。</p> <p>今後もまちの将来に対する議論を深めていって欲しいし、行政にはサイレントマジョリティの高い意識や能力を信頼し、活用していただければと思う。</p>
43	<p>これまでのリサーチに基づく行政主導的な公共空間づくりから、対話によるまちづくりへ進むとのこと、期待しています。(そのように理解しました。)</p> <p>区民同士の対話はもちろんです、区と区民の対話についても発展していくことを望みます。</p> <p>(随分と変わってきたのですが、課題は残ります。区側、区民側共に)</p> <p>戦後の都市基盤づくりと並列して、成熟してきたまちの更新や新しい時代の地域課題が加わり、より複雑で丁寧なあり方が求められている感があります。</p>

	<p>是非この会を良い機会として、地方行政と市民の良い関係モデルとなるように育んでいきたいですね。</p> <p>登壇者からの発言でもありましたが、賛否の応酬に陥らない「その課題をみんなでどう解決していこか」という対話になるようになっていって欲しいです。</p>
44	<p>この度はこのような機会を設けてくださり、ありがとうございました。休日にも関わらず、多くの区職員の皆様が前向きに運営に参加されていたことが印象的でした。</p> <p>今回初めて参加させていただき、グループワークの他の参加者の皆様から学ぶことが多かったです。都市計画道路の計画があることは知っていましたが、その経緯、法的な位置づけ、そもそもの目的、また議論が進まないことによって街全体が被っているイメージや機会損失など、街への愛着をベースとしながら、客観的な情報に基づく議論ができ、個人的には大変貴重な学びの機会となりました。</p> <p>また、同じ街に住むみなさんと話し合ったことで、何よりも自分の街に対する理解と愛情が増しました。</p> <p>前提条件を明確にし、その上で魅力ある街にしていくために、どのような選択肢があるのか、住民と行政の役割は何か、未来思考の議論ができることを期待いたします。</p> <p>ありがとうございました。</p>
45	<p>グループ内では、前向きで良い議論ができました。ファシリも良くまとめておられました。残念なことに、記録係が、内容把握ができず、版書きに、真意が残せていないのです。ファシリと記録係と共同で、まとめをしてもらえるといいと思います。</p> <p>しかし、いつものように書き出しの機会的羅列に終わるのでしょうか。自分の意見が記録されていないとクレームをいう人がいますから。どこかでまとめや方向性を出すことは、次のステップにむかうためには、必要なことと考えます。</p> <p>地域別から混合に組替えがされましたが、地域の違いを話すだけになりました。デザイン会議をどうして行くかということであれば、地域毎に入れ替えた方が面白い結果が得られたと思います。</p>
46	<p>道路拡張反対派が会の進行を妨げ、威圧感のある口調であるため恐怖感を覚えた。また傍聴者がグループワーク中に発言の内容を見て回っているのも違和感があった。参加者は高齢者と道路地権者が多かった。これからのまちづくりを考える会なのであれば、幅広い年代や立場の方に参加していただきたい。</p>
47	<p>区役所職員の皆様も大変だと思います。デザイン会議の趣旨、つまり道路問題なのか、地域の活性化なのか、いまいちピントがあっていないように感じます。問題の地域に居住する住民としては、道路問題のみにフォーカスして、問題を解決して行きたい。又、地域毎に環境が異なり、課題も違うため個別に進めて行く方法しかないと思います。高円寺地区の道路問題は、中野区の再開発と関係があり、素早く進めて行かないと問題解決が難しくなります。</p>
48	<ul style="list-style-type: none"> ・グループワークで、いろんな方から、貴重な情報をいただけて、よかったです、知らないことばかり ・開始直前の、予定外の質問への対応には、やや疑問。もう少し参加者に寄り添う対応はなか

	<p>ったのか、と、先日の水俣病での炎上を思い出しました。上司からの圧力はあるのですが、論点をはぐらかさずに、自分の言葉で語っていただきたかった、と思います。</p> <p>自分の言葉、という点では、パワーポイントを使った説明も同じ感想、ただ読み上げるだけなら、配布の資料をみれば済むのではないのでしょうか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループワークを仕切っているのは、区から委託された団体なのではないでしょうか、果たして、必要なのでしょうか、負担にはなりますが、区の方で充分かと思います ・参加させていただいたグループ、ファシリテーター役の女性は、きちんと仕事をされていました、感謝です
49	<p>「区からの説明」は都市計画道路とデザイン会議との関係に関する説明が不足、「登壇者からの意見」は希望者の2割程度しか発言できず、「グループワーク」は第3ラウンドが省略されたということで、すべて残念な点が一部残ってしまったため「やや満足」としました。</p> <p>(仮称)デザイン会議は都市計画道路とまちづくりの区民参画手法として先進的な取組になると思いますので、今後の発足と進行に期待します。</p>
50	<p>反対派の人の意見もわかりますが、会の趣旨と異なる動きがあるのであれば止めても良いのではないかと思います。また、社会人なのであれば与えられた時間(2分)で要点をまとめる努力をするべきだと思います。</p>
51	<p>会議・運営</p> <p>【感想】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体的に時間が短い。 ・前に出て発言できる機会をいただけたが、参加者全体の年齢層が高く、やや発言しにくかった。補助線について関心の強い方が発言時間外で一方向的に発言し会議を中断することが会議冒頭にあり、お気持ちは非常に理解できるが、圧を感じた。また、反対の意見を持っている人は発言しにくいと思った。 ・今回は「(仮称)デザイン会議」として、区から議題や事前知識なども特に細やかには設けられていなかったため、自由な議題が生まれる場と捉えて参加したが、参加者の関心は殆ど補助線だったため、他の議題が言いにくく、話を深めることができなかった。 ・閉会后、グループワークのボードを一堂に掲示していただいた。多様な意見や気づきを知ることができてよかった。 <p>【要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、杉並で開かれている区民参加型の会議は色々あると思うが、会議それ自体のデザイン(情報整理・構成・組織化・広報)が必要と感じた。 <p>今どのような会議が存在しており、どのような会議が進行しているのかの情報がまとまっていない。あるいはそのまとまった情報に辿り着きにくいいため、自分が、参加が適切だと思えるような会議がわかりづらい。(もしくは、参加後にミスマッチを感じてしまうと思う)</p> <p>会議を一覧化するなどして、包括的に展開してほしい。</p> <p>7/1からの「すぎなみボイス」はまだサイト構成がわからないが、進行中の会議を共有するのに有効活用できるのではないかと思った。</p>

・会議の目的（ゴール）が不明だった。決め事を決める時間を最後に設けていただきたい。決定事項がないと、次の会議が進展しないと思う。

・Zoom や Teams などの活用で、会議参加のハードルが下がると思ったので導入してほしい。

【感想】

・以前「さとことブレスト」に参加させていただいたが、前向きな発案や立案に今回もなかなか近づいてはなかったと思う。

・補助線問題（133号線）の猶予がわからず、いつまでに何をすべきが不透明と感じた。

もし仮に（次期区長選の）2026年をリミットとすれば、時間がないと感じた。都に杉並区民の要望が受け入れてもらえることがまずゴールだと思うので、そのためには都に提出する要望書などの作成が必要かと思う。またその内容も、署名やパブコメのまとめ、まちづくりのビジョンや施策立案などのデータが必要かと思う。それらを収集するには、すでに組織化して始動しなければならないフェーズにあると思う。

補助線

【要望】

・都市計画道路補助線の会議はすでに独立して行ったほうがよいのではないかと思う。

・補助線の知識などが少ない方、知らない方、立ち退きを迫られている人などが混在しており、同程度の知識を持った人どうしが議論できない。知識が少ない方が当事者の意見に触れるのは良いことだと思うが、ある程度の勉強会を経てから、会議に参加できるプロセスがあってもよいのではと思った。

・自然景観や街並み、住民の暮らしを大きく変える事案であるにもかかわらず、まだ広く認知浸透されていない。現在は、情報を知りたい人が取りにいくと言った形しかなく、何も知らない人が情報に触れるきっかけが非常に少ない。例えば、広報すぎなみで特集を組み、全戸配布（臨時号・特集号など）すべき事案だと思う。何かしらの様々な媒体で、周知する施策をしていただきたい。

・「すぎなみボイス」に、補助線に関するパブコメのページはあるのだろうか？もしなければ設けていただきたい。

・区民の有志による会議運営委員会が必要だと思う。

・補助線の整備で人の暮らしを犠牲にしたその結果、人が住みよい街ができるとは思えない。税金は、区民の暮らしを向上できる他の公共政策に使っていただきたい。

グループワーク

【要望】

・今回はセグメントを地域別にしてしたが、年代別（例：20-30代の若年層と、40代以上の年齢層）で織り交ぜたグループワークをしてもよいのではと思った。

・若年層のみが参加できる会議やグループワークの場がほしい。

・デザイン会議に参加された方の中でも、地域振興や地方創生の仕事に関わったことのある方も見受けられた。より専門的な有識者のみでのグループワークをすることにより、より高度な発案が生まれるのではないかと思った。

	<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方自治法改正案のことが挙がらないのが意外だった。もし改正されたら有事の際の地域主権が消滅するため（実質の緊急事態条項の発動）、今回のような議論の場を設けることも難しくなるのではないかと感じる。 ・自分はまだ勉強中だが、グリーンインフラの観点は杉並区民が求める街の在り方にマッチしているのではないかと思う。議題に上がる課題を一手に解決できるのではないかと思った。
52	<p>最初の意見発言の場で、かなり声高にご自分の主張を取って時間を超える形でしていた方がいましたが、とても残念に思いました。</p> <p>この会はその類の主旨で参加したのでは無かったので気分を削がれました。色々なご意見があつて当然だと思いますが、会のルールを守らず意見を通されるのは今時の手法ではないと思いますので、そのような方々には考えを改めて頂けることを願うばかりです。</p>
53	<p>会議そのものもひどいがアンケートもひどい。①LoGo フォーム自由記述 2,000 字（60,000 字 Ver.のフォームもあるのに）。書ききれないので仕方なくプリントアウトして郵送する。自腹である。②紙版なら自字数制限なし、フォームなら 2,000 字と条件が異なる。また上の Q1～5 はフォームでは回答必須で紙は任意。統計としておかしいのではないか。③Q2 登壇者とは冒頭発言した区民のことか。本文にも書いたがリスクを負って勇気を出して登壇した区民もいる。それを区民同士で評価させるとは。また、15 人ちがう意見なのでどう評価するべきか。人数、時間が少ない/多いならまだしも。④プログラムのウラ面がアンケートはありえない。提出すると手元に資料が残らない。⑤議題以外に会の持ち方に問題があり、さらにそれを批判しようとするアンケートの建付がおかしい。そこから言うのに手間がかかる。⑥追記：新設の部署なのに男性しかいないのか？フェミニズムシティは？⑦追々記：モザイク柄になっているカラー表紙のニシオギの写真で通行人の顔が特定できるがこのような使用は不適切。</p> <p>「治道」デザインという言葉に尽きると思う。</p> <p>道路拡幅・延伸は揺るぎなく実施する、その脇の「治道」を区民にお飾りの的にデザインさせてやる、というのがこの会議（仮称）の狙いなので、と確認するに至った。本当に悪辣だし、しかも立ち退き、減歩の当事者を呼びつけて、あたかも何か道路事業そのものの話ができる場であるかのように期待させて、実際は拡幅ありきの「治道デザイン」に参画させようとするとは、残酷無比、鬼畜の所業としか言いようがない。</p> <p>都市計画の専門家に聞いたところ、このようなワークショップの手法は土地買収を伴うときには絶対にやってはならない、しかも今回採用したワールドカフェ方式は「職場横断の職員研修」や「多文化共生のイベント」などで使うもので、何かのアイデアをまとめるものではない、とのこと。それを聞いて、要は「知り合い、仲良くなる」ことを目的としたワークショップだと理解した。</p> <p>おそらく区は、これからデザイン会議の「はじまり」にあたり、参加者が治道デザインのスタッフとして継続的に活動し、実動することを目指すため、初対面の参加者同士がつながる、仲</p>

良くなることを「はじまりの会」のゴールにしたのではないか。今後のスケジュールを聞いてみると、どうもそうした区民のボランティアな動員を図っているように思われる。

住民参加のまちづくりといえば聞こえがいい（から 200 人も来たのだろうが）が、ここにはいくつもの罠があり、そもそもの設定からして悪質な謀略である。まず、いまだ当事者・地権者の反対が圧倒的な事業について、道路拡幅ありきで会議の召集。特に当事者・地権者は事業を止めてもらいたいために、意見を伝えるあらゆる機会をつかもうとしていえる。区長が「対話」という甘い言葉で釣るものだから、余計にチャンスがあると、藁にもすがる気持ちになる。今回発言者には「最初に地域と名前を言え」と案内されたが、これから最悪立ち退きや補償があり得る人が名前と顔出して YouTube にまでアップとは、よくも軽薄にそんなことが言えるものだ。それなのに勇気を出して発言しようとしたのは、本当に数少ない発言機会を待ち望んでいたということではないか。しかし実際に行われるのは「あなたの家や庭は（壊して）沿道になりますよ」「その沿道を（現状を破壊して新しく）デザインしましょう」と、臆面もなく言い放つ会議であり、事業への反対意見を汲み上げる回路ではまったくない。それを当事者・地権者に対しても、あたかも参画の機会であるように見せかけて召集するのは、失礼だし屈辱的な嫌がらせであり、具体的な土地と金銭の問題でもあるのだから、もはや詐欺行為ですらある。

ワールドカフェ方式により「意見の違う人が」「仲良くなり」「合意する」という設定も信じがたい虚妄である。まず想定されている「合意」とは区の事業への「同意」でしかない。しかも立ち退きしたくない当事者・地権者と、利権があるにせよないにせよ「にぎわい」だの「安全だのと道路拡幅をその答えであると信じこんで賛成している者たちとが「仲良く」デザインができるかとも？

道路拡幅がいいと思う者たちは区に協力して、なんなら「沿道」の事業に参画して利益があるとよい、と思い、会を円滑に予定通りに進めたいだろう。根本的に反対したい者は「ここはそういう場ではない」とされ、排除されるしかない。なぜなら、その会が「どういう場か」は召集した区がいくらでも勝手に設定することができ、当日来て「これからどうやって進めるか」などを参加者に問うのは単なる茶番、そこでどうこうできるものではない。

そして、このデザイン会議の運営は、細かいグループトークや小刻みな時間配分、楽しく話し合ってくださいというプレッシャー（トーンポリシング）などの手法を駆使することで、区民が広く（参加者・行政の双方の）多数に向けて意見を伝えることを妨害し、自分が何をしているのか、全体で何が起きているのか見えなくしている。こんなものは区民の分断と困惑しか生まない。なぜなら行政側が（意図的に）間違った方法をチョイスしているからだ。進行の不手際もわざとではないかと疑わしい。

はっきり言って、このデザイン会議は狡猾な落とし穴である。反対意見を伝えるために出ようとしたら、それが事業を進めるための道具にされてしまう。しかし「対話の区政」と言いなが

ら、対話の場は決して多くはなく、実質的に反対者どころか、当事者・地権者の声を届ける仕組みはない。だから反対者も出てくるしかない。

このデザイン会議の邪悪な倒錯をなんとか改善しようにも、中から変えるしか今のところ回路はなさそうだ。しかしそのために会議に参加したり、ましてや運営委員会に入るなどしたら、道路拡幅・延伸事業を進めることになってしまうジレンマ。非当事者で反対している者ならジレンマで済むが、当事者にとっては自殺行為になる罠か地雷のようなものである。非当事者としても、ただでさえ苦しんでいる当事者・地権者の人たちのことを思うと、こんな陰湿な企みに手を貸すことになるのは不本意である。これからのデザイン会議への関わり方をどうすべきか考えると、心が引き裂かれんばかりである。落とし穴に落ちたくないのは当然だし、他人の墓穴を掘るような真似はしたくない。

私が発言（「意見を言いたい人」と申し込み、「発言」と当選の連絡が来て、当日行ってみたら「コメント」呼ばわりされていた）で言った「民主主義は時間がかかる」は、区長が他の件の当事者である区民に対して、区民が望む対話に応じないことの言い訳として言い放ったクリシェである。私は区長への嫌味のつもりで入れたのだが、区長は来場すらしていなかった。あり得ない。そして最後に適当に会を閉めようとした行政側が「発言にもありましたが民主主義は時間がかかる」とご丁寧に引用してくださった。しかしこのデザイン会議という悪質な住民への拘束を利用して、行政がやっていることは「時間をかけておいて」その間に「道路拡幅・延伸事業を後戻りできないところまで進める」ことである。もちろん、そんなものは民主主義ではなく、暴力でしかない。以上